



今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

滝沢市立一本木小学校
令和7年 2月27日
第19号 文責：亀 丸

お掃除の仕方を学びました

19日(水)に株式会社ダスキン盛岡上堂店の菅原聡樹支店長とダスキン矢巾の橘純也様にお越しいたゞき、「ダスキン キレイのタネまき教室」を開催しました。1年生と5年生が参加しました。

1年生は、もうすぐ2年生となり新たに入学してくる1年生に教える立場になることを意識させることをねらいに、5年生は、来年度は縦割り班清掃のリーダーになることを自覚することをねらいに実施しました。

まず、お掃除をする目的を学びました。掃除の主な目的は以下の3点だということを学びました。

- ① 快適＝きれいな空間で気持ちよく過ごす
- ② ながもち＝故障や破損を防いでものを長く使う
- ③ 健康＝心も体も健康で元気に過ごす

次に掃除用具の正しい使い方を教えていただきました。普段使い慣れているほうきやちりとり正しい使い方について、実習を通して学ぶことができました。また、雑巾の上手な絞り方も教えていただきました。低学年の子ども達は雑巾を固く絞ることがなかなか難しいものですが、みんな上手に絞ることができるようになりました。

さらに掃除後の手洗いの重要性について再確認しました。

最後に講師の方々から参加した児童に「クリーン調査隊メンバー手帳」が授与されました。



そば打ち体験

同じく19日(水)にいずみ菓子在住で東屋さんにお勤めの立花清一様に指導していただき、6年生がそば打ち体験をしました。2学期に行う予定でしたが、インフルエンザの流行により延期していた学習です。毎年そば畑を耕してくださっている南一本木自治会長の岩井雅之様と、唐箕を貸してくださった角掛利子様をお招きしました。

はじめに立花様からそばの打ち方を教えていただきました。今年6年生が栽培したそばの実はとてもできがよく、いいそば粉ができているとお褒めの言葉をいただきました。比較的少ない水の量でもしっかりとしたおそばが打てるとのことでした。

まず、そば粉全体に水がいきわたるように混ぜていきます。指でやさしくかき混ぜ、そば粉が指につかなくなるまで混ぜていきます。

そば粉全体に水がいきわたったら、しっかり手の腹で練っていきます。

ひびが入らないように柔らか過ぎず、かた過ぎないようにするのがポイントだそうです。十分に練ったら生



地を中に練り込んでいき、円錐形に形を整えたら、手で押して平らにします。その後麺棒で生地を薄く伸ばします。その時、手についたそば粉の小さな塊が伸ばした生地につかないようにすること、斜めに動かしながら四角形になるように伸ばすことを教わりました。

十分に生地を伸ばしたら、麺切包丁で切っていきます。細い麺、太い麺と班によって様々でしたが、初めて持つ麺切包丁を上手に使いながら思い思いの蕎麦が打ちあがりました。

さっそくゆでて、東屋さんのおいしいそばつゆでお蕎麦をいただきました。



そば粉に水をいきわたらせる → **生地を練る** → **生地をのばす** → **切る**

比較するためにいただいた東屋さんのお蕎麦だけでなく、そば寿司とそば粉で作ったデザートもいただきました。自分達で育て、自分達で収穫したそばで打ったそばを食べるという経験は、子ども達にとって貴重なものになりました。また、そば寿司やそば粉で作ったデザートをいただくことで、そばはお蕎麦以外にもいくつかの食べ方があることを学びました。



左側は東屋さんのお蕎麦

そば寿司とそば粉を使ったデザート

楽しく会食

学校保健委員会

14日（金）に学校保健委員会を開催しました。当日は学校保健委員会の委員でもあるPTAの三役・監事・地区理事の方々だけではなく、学校内科医の山口淑子先生、学校歯科医の小豆嶋章先生、学校薬剤師の戸来賢明先生、一本木中学校の菅原和歌子先生にも参加していただくことができました。足元の悪い中、そして遅い時間にもかかわらず、たくさんの方々に参加いただきましたこと大変ありがとうございました。

養護教諭の後藤より、今年度の各種健康診断の結果と身体測定の結果、そして体力向上担当教諭の高橋より、今年度の体力・運動能力調査結果について説明させていただきました。また、本校の児童の実態として、虫歯のない児童が全国値に近づいてきている等のよい点があるものの、肥満傾向の割合が高くなってきていること、柔軟性が低いこと、早起き・早寝・就寝前の歯磨き・メディア利用の時間など、基本的な生活習慣の確立に課題があることが協議されました。この点については家庭・地域・学校が連携して子ども達の健康のために取り組みを強化していきたいところです。

学校医の先生方からは、肥満と運動習慣、生活習慣の確立と虫歯の関係、若者のメディア利用とオーバードーズなどの問題について貴重なご意見をいただきました。